

【 第23 世界学生選手権 】

2016年6月24日 ~ 7月5日 スペイン / マラガ

試合結果報告 7 月 2 日 (土)

JAPAN	VS	KOREA
13	前半	15
16	後半	14
1	延長 前半	4
2	延長 後半	3
32	合計	36

個人得点

名前	前半	後半	延長前半	延長後半	合計
加藤 芳規					0
東江 雄斗	1	4			5
橋本 明雄	1				1
岡元 竜生	1	1			2
藤 勢流					0
岡松 正剛					0
堀 広輝	2	1			3
徳田 新之介	3	3			6
水町 孝太郎	2				2
玉川 裕康	1	4		1	6
吉野 樹	1	1		1	3
岡本 大亮					0
杉岡 尚樹	1				1
原田 一沙		2	1		3
斎藤 大生					0
友兼 尚也					0
合計	13	16	1	2	32

試合結果

戦評

決勝トーナメント準決勝、韓国との1戦。

前半立ち上がり、韓国の高い3-2-1DFに対応出来ず、テクニカルミス等でなかなか点数が取れない展開に。

開始6分に堀のサイドシュートが入り、3-1となる。

その後も水町のカットインや徳田・杉岡の速攻などで

得点を重ねるものの数値には出ないDFの連携ミスなどが

重なり、1度もリードする事なく、13-15で前半終了。

後半に入り、日本は7人攻撃を仕掛け、試合のテンポを

変える試みを行うと玉川のミドルシュート、堀のサイド

シュートが決まる。しかし、韓国も早いリスタートや速攻

などで得点し、なかなかスコアが縮まらない。

後半15分過ぎからGK加藤の好セーブから原田・東江の

カットイン、徳田のミドルシュートの連続得点から差は、

縮まり始める。

後半残り2分を切り、玉川のパワープレーからポストシュートが

決まり、最後の最後でこの試合初めてのリードを得る。

しかし、韓国も早いパス回しからポストに渡り、その

シュートを阻止するもののエリア内の反則となり、ペナルティーを

決められ、同点になり延長戦に入る。

延長前半はスタートから1人退場の状態から始まり、

立て続けに2連取される。日本は原田の気迫溢れる

プレーで得点を取るが延長前半を1-4で折り返す。

延長後半に入り、DFで粘りを見せるもののOFでは、7人攻撃

などを仕掛けるがなかなか得点が取れず、逆に韓国は

冷静に時間を使い、最終的に32-36で終える。

決勝進出を逃した事、韓国に負けた事、全てが悔やまれるが

銅メダルを獲得する為、また前を向いて戦って行きたい。

報告記者 :

豊田 賢治